

1 はじめに

川口市のごみの今とこれから

川口市では、令和2年3月に策定した「第7次川口市一般廃棄物処理基本計画」において、平成30年度に826gであった1人1日あたりのごみ排出量を、令和11年度までに760g以下に減らす目標を設定しています。

令和5年度のごみの排出量は166,146t、1人1日あたり748gとなり、目標達成に向けて、ごみの発生量の抑制・減量化、再使用に係る取り組みを継続、拡充し、市民・事業者の協力を促すことが必要です。

3R（スリーアール）を知っていますか

3R（スリーアール）とは、ごみを減らす3つのキーワードです。

- ①資源の無駄遣いをなくしてごみを減らす Reduce（リデュース）
- ②使えるものを再使用する Reuse（リユース）
- ③資源として再び利用する Recycle（リサイクル）

これら3つの言葉の頭文字の「R」をとったものを3R（スリーアール）といいます。

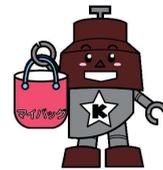


1. Reduce（リデュース）

一番大切なR

ごみを出さないことが大切です

- 買い物袋（マイバック）を持参する
- 必要なものを必要な量だけ買う
- 食品ロスを出さない



川口市マスコット
「ぎゅぼらん」

2. Reuse（リユース）

二番目に大切なR

ものを繰り返し使いましょう

- 修理して使う
- 繰り返し使えるものを選ぶ
- リサイクルショップを利用する



3. Recycle（リサイクル）

三番目に大切なR

資源として再利用しましょう

- 資源物を正しく分別する
- 地域の集団資源回収に参加する
- リサイクルされた製品を選ぶ



大量にものをつくり、使い捨てる社会に代わり、石油などの天然資源の使用を抑え資源循環型社会を達成するために3Rは不可欠です。

この中で一番大切なことは、①Reduce（リデュース：発生抑制）です。すぐにごみになるようなものをつくらない、買わないことにより、ごみ自体を発生させないことが最優先です。

二番目に大切なことは、②Reuse（リユース：再使用）です。ものを繰り返し何度も使うことで、貴重な資源を最後まで有効利用できます。また、リサイクルに比べ新しい天然資源を使わずに済みます。

最後が、③Recycle（リサイクル：再生利用）です。これは使えなくなったものを原料として他のものにつくり変えることです。しかし、リサイクルは良いことばかりではありません。原料から他のものにつくり変えるときには、石油などの天然資源を使わなければなりません。そのため、①ごみを発生させない、②ものを再使用する、ということを優先し、リサイクルの割合を減らすことが大切です。なお、最終的に出されたごみは焼却処理で熱エネルギーとなり、発電や給湯として活用（熱リサイクル）されます。焼却できないもの、焼却して残った利用できないものは最終処分場に埋め立てることになります。

狭い日本でごみを埋め立てるための場所を確保することは簡単ではありません。また、ごみを処理するには多くのお金と人手がかかります。一人ひとりが3Rを実行して、できるだけごみを減らしていきましょう。